

起因物、事故の型：その他の装置、設備 - 切れ・こすれの死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	業種小 コード	労 働 者 規 模
1	9~ 10	井戸清掃作業中にコンプレッサーを始動しようとして、始動ロープを引っぱる際に空回りの余裕を作ることを忘れ、ロープで右手人指しゆびが切れた。	54	80209	1~ 9
1	21~ 22	ヘルプに入り、店内ホールの木製のお客様用テーブルを拭いている時に、テーブルにささくれが出来ており、そのささくれが右手薬指に刺さり入り込んでしまい腫れた。	31	140201	—
1	19~ 20	調理場内を移動中、転びそうになりバランスを崩してとっさに調理台の足を掴んだ。掴んだ場所に突起があり、指を負傷した。	63	140201	1~ 9
2	16~17	高圧水で受入槽内の防食剥離作業中、向きを変える際、ホースが障害となり体勢を崩してしまい、ガンの先が右腕に向き裂傷を負った。	28	30110	—
2	22~23	店舗厨房内の店作業時に、フライヤー用油の一斗缶の切り口が上に開いていたので閉じようと下へ押したところ油で滑り右手中指が管の中に入って切ってしまった。慌てて指を引き抜こうとした際に切り口に爪が引っ掛かり爪全体の1/3程はがれてしまい負傷した。	21	140201	—
3	13~14	店内のキッチンにて食器の仕分け作業をしていた際にガラスが割れてしまい、破片で左前腕を切傷した。	17	140201	30 ~ 49
3	9~10	開店作業の為に冷蔵庫から麺出しをする際、ステンレス棚のL型が破損しており、誤って左手が触れ、小指と薬指の間を切った。	52	140201	1~ 9
		厨房内で、冷菜を盛り付けようと食器棚から器をとり出そうとカゴを斜め			10

4	10～ 11	にし、器をとり出すときに食器棚の上部レールに手があたり右手中指を切った。扉の開閉動作によりレールが摩耗し、鋭くなっていた。	50	130201	～ 29
4	14～ 15	30mlの化粧品のガラス瓶を左手で持ち、右手でキャップを開けようとして、キャップがきつく、キャップがゆるむ前に瓶の首部分が割れてしまい、その部分で左手の親指と人差し指を切った。	55	10109	～ 299
5	17～ 18	羊肉の加工処理を終え、包丁を洗うため左手に包丁を持ち右手スポンジで洗っている時、誤って手を滑らせ右親指に裂傷を負った。親指を動かすと少し出血し、右長母指伸筋断裂と判明した。	57	10101	～ 29
5	23～ 24	洗い場にてジョッキを洗っている時に、伏せてあったジョッキが落ちてきて、シンクに当たり割れ、割れたジョッキの破片が飛んで小指を切った。	27	140201	～ 299
6	15～ 16	店舗内の高い位置にある元栓を開けようとイスに乗ったところ、その際にバランスを崩してレンジフードに手をついて、中指を切ってしまった。	33	140201	30 ～ 49
6	13～ 14	取材の際、山頂でドローンでの撮影を開始した。着地させる為の水平で広い場所が無い為、空中で素手による回収を試みたが、気流が不安定でドローンがブレたため、プロペラが指に接触し、両手中指の数箇所を切傷した。	37	100101	10 ～ 29
6	16～ 17	店舗に設置してある換気扇のフードを清掃していた際、ステンレスフードの端で右手中指第一関節外側をこすった時に切創した。	44	140201	1～ 9
6	16～ 17	店舗厨房にて、ゴミ捨て作業中に、ごみ受けの端がめくれていたため、ごみ受けの端で左手人差し指を切ってしまった。	29	140201	～ 99
6	15～ 16	工場内において、パレット製造過程における釘打ち作業中に、誤って鉄砲釘打機のアアホースに足をとられ、その際に釘打機から釘が発射し、右足を受傷した。	24	10401	30 ～ 49
		配達のため、上り坂途中にバイクを停車させようとまたがったまま車体を			30

7	23~24	左側に傾けたところ、積載している郵便物の重量により転倒しそうになり、左足で踏ん張った際に左足を負傷した。	22	140201	~ 49
7	10~11	客室の清掃中、入口ドアの受け金属部分に指先が引っかかり深く切れた。	40	140101	1~ 9
7	8~9	当社の作業現場にて、作業の準備中荷物をトラックの荷台から降ろしている時、釘打機を地面に落とした。落とした釘打機を持ち上げようとした際に、誤ってトリガーを掴んだため、釘が左足の甲（くるぶしあたり）に打ち出され負傷した。	20	30202	1~ 9
7	13~14	部品庫にある高さ2mのスチール棚の中段約1m上によじ登り、天井から出ているエア配管のサイズを測った。棚から降りる際に左手薬指の指輪が棚の柱の間に引っ掛かって指に体重がかかり、指輪が凶器となり、左手薬指が第二関節より切断された。	38	11409	100 ~ 299
7	13~ 14	電解研磨工程でカゴに製品を入れ、酸洗った後に洗い場にクレーンで移動し乾燥作業をするために製品が入ったカゴにお湯をかけてから洗い場から移動させるが、移動する際にアングルにクレーンで吊るためのバーをセットしなければならない。カゴに上ってセット中にバーの位置確認をしにカゴから降りる時にアングルに添えていた手がズレて裂傷した。	55	11204	50 ~ 99
7	9~ 10	バームクーヘンを裁断後、次の作業として刃を移動しようとして押さえていたところ、刃が手に当たり負傷した。	47	170101	100 ~ 299
7	10~ 11	調理場にて、フライヤーの掃除を行っていた際、油を抜くためにフライヤーの下部にあるコックを目視せず、手探りで捻ろうとしたため、フライヤーのコック付近の鋭利な金具に気付かず、指先が当たり、深く裂傷した。	62	140201	30 ~ 49
7	9~ 10	調理場内の配膳室で、コンテナ保管庫のコンテナを拭く作業中に、コンテナ保管庫入口の安全レバーを解除する際、レバーが動かず、カー杯レバーを引っばったところ、レバー奥側に置いていた左手に、レバーと連動して動く箇所が接触し、左手中指が切れた（傷口長さ3~4cm）。	47	10109	50 ~ 99

7	19~ 20	事業所において、洗浄機を洗った後、床を洗い流すために洗浄機の蓋が置いてある台を動かした際に、蓋の差込口に右手指が当たって切創した。差込口は薄くて鋭利であるため、当たるとすぐに切れるようになっていた。	57	10109	10 ~ 29
7	10~ 11	精肉作業場にて、豚肉の成形を行っていたとき、取り除く予定の部位から包丁が滑り、左側に添えていた左手親指を負傷した。	65	80209	50 ~ 99
9	7~8	運転草刈機のエンジンをかけたままで回送してしまい、間違っ足親指をいれてしまい切ってしまった。	46	30199	1~ 9
9	22~ 23	トラックの荷台の中で、つっぱり棒を掛け忘れて、掛けに戻ったとき、ダクトに左足の親指を引っ掛けてしまい、全治一週間のケガを負い、7針縫う結果となった。	52	40301	50 ~ 99
9	17~ 18	厨房内の電子レンジにて、温めたご飯を電子レンジから取り出そうとした時、ターンテーブルが割れており落下してきた為、受け止めようとした際、左手中指と薬指の間を割れたターンテーブルで切傷した。	17	140201	30 ~ 49
10	10~ 11	地下1階設備機械室内で既設の膨張タンク（600φ×1923H タンク容量500?）を4人で押さえながら傾けたところ、膨張タンク内のゴムが破損していた事に気がつかず想定外の水（500?程度）が入っていた為、4人では支えきれず膨張タンクが横倒しになり少し転がった時に、作業員1人の右足が膨張タンクと床の間に挟まれた。原因として、通常はチェーンブロック等の工具を使用して撤去をするが、今回撤去する膨張タンクがステンレス製であった為、職長が軽いと判断し人力での作業を進めてしまった。	44	30309	1~ 9
10	19~ 20	製造工場内のシンクにて、仕込んだカードケーキに使用したステンレス製の型枠をスポンジと素手で、シンクにお湯を張り浸け置きした状態の物を洗浄中に、右手でスポンジを持ち、型枠を挟んだ状態で、勢い良く右にスライドさせた際に、型枠が右手人差し指の関節に丁度当たってしまい、鋭く切開してしまった。	35	10104	30 ~ 49
		店舗のベビー売場で補充作業を行うため、オムツを脚立で棚上（高さ			

10	15~ 16	180cm) にあげ、脚立から降りようとした時にバランスを崩し、脚立の2段目（高さ40cm）から足を踏み外し転倒しそうになった。咄嗟に棚上のプラスチックの什器を左手で掴んで支えたところ、掴んだ什器で中指と薬指の付根から第一関節の間を負傷した。	20	80209	10 ~ 29
10	9~ 10	当社工場内で塩が入ったステンレス缶を手動で移動する際、ステンレス缶と壁の間に左手親指を挟んでしまい、負傷した。	45	10109	50 ~ 99
12	9~10	厨房内の洗浄コーナーで、朝食下膳の洗浄をしている時、割れた食器に気が付かず、右手人差し指の第1関節から指先にかけて、切傷してしまった。	46	10109	10 ~ 29
12	17~18	機械装置の保守点検のため分解・組み立てをして、中の様子を見るため指で水をかいていたところ、先輩が誤って電源ボタンを押したため、左中指の第一関節から先を切断した。	22	80209	1~ 9
12	21~22	厨房内のキッチンコンロの前で、手を伸ばしたはずみで金属製の仕切り板に右手をぶつけ、右手の薬指と小指の間の付け根を裂傷した。	30	140201	30 ~ 49

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to：[https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_08.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_08.html)